

## ■部会 Report

# 環境部会の活動紹介

環境部会長 **山形 秀紀**  
(株)東洋設計 エネルギー事業部

### (1) 環境部会会員

環境部会は現在 29 社 49 名で構成されています。部会員の構成は、風車メーカー/代理店 8 名、コンサル/エンジニアリング 19 名、事業者 16 名、O&M 4 名、その他 2 名です。

### (2) 平成 26 年度活動報告概要について

平成25年度に設立した「風車音」、「鳥類」及び「環境一般」のチームを26年度からワーキンググループ (WG) に改組し、これまでの活動を継続展開しました。また、政策部会とともに開催した「風力発電に係る環境影響評価の課題に対する検討委員会」の「助言書」を受けて、騒音、鳥類、景観、工事中的の影響に関する作業部会に対して、各WGによる検討および作業部会へ参画することにより、助言書に基づいた環境影響評価の迅速化、効率化を進めてきました。部会および各WGでは下記のような活動を主に行いました。

#### 1) 環境部会

毎月 1 回の定例部会を開催し、活動報告や取り組みの検討等を行いました。

また、政策部会とともに、「風力発電に係る環境影響評価の課題に対する検討委員会」を開催し、4つの作業部会との協働を行いました。

加えて環境省、経済産業省の各委員会に参加しました。

#### 2) 風車音WG

風車音 WG では下記のような活動を主に行いました。

- ①騒音基準に関する情報の収集・整理
  - ・各国の一般および風車に係る騒音・低周波音の環境・規制基準値の収集・整理の調査方針の検討
- ②風車音計測・評価の最新動向の把握

・国内外の風車音の計測・予測手法の洗出しと適用性の基本検討

#### ③事後モニタリング手法の素案作成

- ・助言書を受け、騒音苦情の発生や対応についての事業者アンケート調査の素案作成や分析評価の助勢
- ・助言書を受け、事業者が建設後の風車音データを測定分析するための手法の素案を作成

### 3) 鳥類WG

WGでは下記のような活動を主に行いました。

#### ①希少種データ活用に向けて

- ・アセス迅速化のため、イベント参加、機関誌・研究報告の入手、HP閲覧等を通じて、環境省等公的機関・学会、関係団体等の所有する情報を収集・整理
- ・内容：猛禽類生息状況（生態、渡りのルート・集結地等）の情報、鳥類に関する情報源情報、データ活用のための自治体環境情報データベースを吟味

#### ②意見交換会

- ・鳥類に関する有識者との意見交換会を2回実施。新しい風力アセスの考え方、希少鳥類等に関する最新の生息情報や観測技術に関する知見を得た。

### 4) 環境一般WG

環境一般WGでは下記のような活動を主に行いました。

#### ①アセス配慮書の評価方法のJWPAとしての方向性の統一検討

#### ②アセス配慮書、方法書、準備書、評価書への指摘事項の整理

#### ③JWPA 自主規定改定

- ・自主アセス規模事業を対象とした「小規模風力発電事業のための環境アセスメント

ガイドブック(JWPA環境アセスガイド)」を策定

### (3) 平成 27 年度活動計画

「風力発電に係る環境影響評価の課題に対する検討委員会」の「助言書」を受け、環境アセスメントの迅速化、効率化を図ることを目的として、国内外の情報の収集、知見の集積、関係官庁等諸機関との連携に努めつつ、諸活動を展開していきます。今年度も風車音、鳥類、環境一般の 3WG を設置します。各 WG の平成 27 年度の事業計画の概要を以下のとおりです。

#### 1) 風車音WG

##### ①計測技術タスク

- a) 計測・予測手法のサイト状況タイプごとの適用性検討
- b) 騒音実測データの収集
- c) 予測ソフトによる予測値と実測値の比較

##### ②制度政策タスク

- a) 他国における特に静寂地域の騒音規制値・基準制度の整備状況と適用実態の調査
- b) 風車騒音に関連する国内外の動向把握

##### ③アセス助言書タスク

- a) アセス助言書対応／騒音・超低周波音作業部会との連携
- b) アセス助言書に向けた風車音の専門家へのヒアリング

##### ④苦情分析タスク

- a) 風車騒音苦情に関連する動向把握
- b) 風車騒音苦情の発生する背景の分析
- c) 風車騒音苦情の発生する騒音レベルと離隔距離などの地理的特徴の分析
- d) 騒音等作業部会や JWPA パブリシティーへの苦情者視点からの注視

#### 2) 鳥類WG

##### ①知見の収集・整理・共有

- a) イベント参加と共有(鳥学会やアセス学会等大会、講演会等参加)
- b) 情報収集・蓄積・共有(他事業 BS 事例・自治体 HP 情報等の整理等)

c) 国への情報提供依頼準備(鳥類関連情報の地図化の要望等)

##### ②普及・啓発

a) 「風車と鳥類」(仮称)シンポジウムの開催(100名規模、有料会議室)

##### ③アセス助言書対応／鳥類作業部会との連携

a) 作業部会の円滑な運営に資するための準備会の開催

### 3) 環境一般WG

##### ①環境アセス全般の関連情報の収集・整理・共有

- a) 各省庁等の調査研究等委託業務や実証事業等の仕様及び報告書の収集・整理
- b) 各省庁等が実施している調査や委託研究等の相互の関連性チェック
- c) 調査や委託研究等結果の整理・明確化、及び共有

##### ②専門家・有識者との意見交換会

### (4) WG へのお誘い

以上が環境部会の昨年度の活動報告と今年度の活動計画です。

今年度も環境アセスの迅速化、効率化を図るため、また、環境に関する様々な課題に対応していくために、部会・WG の活動が重要な年となります。

環境部会では、環境アセスメントを中心とした動向や技術情報が豊富にあり、環境省や経産省などとの意見交換会も行われております。各 WG においても最新の情報収集を行い、環境アセスの必要な情報データの収集、検討を行っています。

そこで、協会の皆様には積極的に部会・WG へ参加いただき、風力発電が直面している大きな課題と一緒に取り組んで頂ければ幸いです。WG 後には懇親会も時々開催されております。

今年度で 2 年目を迎えますが、ますます積極的な活動に取り組んでいきたいと考えております。今後も皆様のご協力頂きますよう宜しくお願いいたします。

以上